

2025(令和7年)度「自然観察会」(共催)の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	「秋の森の観察会」(交流館～エゾユズリハコース～志文別線～大沢コース、周回3km)	
開催日時	2025(令和7)年10月2日(木)9:50-12:30 一部、10分間程超過	
天 候	快晴 日最低気温10.6℃ 日最高気温23.9℃ (アメダス江別)	
参加状況	一般参加者:34人、6班編成/ ボラレン:11人(前日、話題提供・下見会11人)	
観 察 記 録 主 な も の	草 本	(開花)アキノウナギツカミ、アキノキリンソウ、イヌタデ、エゾトリカブト、エゾノコンギク、ゲンノショウコ、サラシナショウマ、ハナタデ、ミゾソバ、メナモミ、ユウゼンギク、 (果実)ウマノミツバ、オオウバユリ、キンミズヒキ、ケチヂミザサ、コウライテンナンショウ、ノブキ、マイヅルソウ、ミズヒキ、ミミコウモリ、ヨブスマソウ、ルイヨウショウマ、
	木 本	(紅葉・黄葉)カツラ～落ち葉の甘い香りを楽しむ、シウリザクラ、タラノキ、ツタウルシ、ハリギリ、ホオノキ、 (果実)エゾユズリハ、コナラ、ハイイヌガヤ、 (冬芽)オオカメノキ(花芽・葉芽)、ハクウンボク(葉柄内芽の膨らみ)、
	シ ダ	オシダ、オシヤクジデンド、コウヤワラビ、コタニワタリ、ジュウモンジシダ、ミゾシダ、
	野 鳥	エゾフクロウ(幼鳥)、ハシブトガラ(間近に観察)、
	その他 虫こぶ きのこ	サッポロマイマイ、エゾマイマイ、オカモノアラガイ、ザトウグモ、クチナガガガンボ、クロスズメバチ、アキアカネ、ヨフシハバチ、 *遊歩道脇の枝、高さ2.5mほどに残るスズメバチの空き巣を観察 ヌルデ五倍子、ヨモギハシロケタマフシ、ナラメウロコタマフシ、イヌコリヤナギハコブフシ、エリマキツチグリ、タマゴタケ、ホコリタケ、
感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穏やかな天候に恵まれ、初秋の森歩きを満喫。「楽しかった」の声が多かった。～下見会に基づく各班共通の観察話題+各ガイドのオリジナリティーで対応。</li> <li>・地方でガイド実践中の参加者からは、客層の違いに叶った対応振りが評価された。～種名の紹介にこだわらず、テーマ・ストーリー性のあるガイドが求められる。</li> <li>・バッタ変死体(糸状菌、エントモファガグリに感染)や虫こぶ、タマゴタケ、ツチアケビ等が印象的。エゾフクロウ幼鳥も出現し、フィールドマナーを啓蒙。～ヌルデの虫こぶ「五倍子」では、一部有翅成虫も観察。生態など関心を集めた。</li> <li>・遊歩道から逸れない、採取しない。野鳥観察では静かに&amp;滞留しないの徹底!</li> </ul>	



自然ふれあい交流館前庭での開会式



フィールドでの班別のガイド風景



同 左



タマゴタケ



感染バッタ・エゾトリカブト



ヌルデの五倍子に有翅成虫



ナラメウロコタマフシ



アキノキリンソウ

(記録: 桑井利子、事務局)